

Game Report

開催場所：玉名市総合体育館

試合区分：第 22 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 女子決勝戦

試合期日：2017 年 5 月 21 日(日)

試合時間：15:00～

主審：御手洗 亮

副審：岩尾 圭治

副審：豆塚 宣男

日本経済大学	57 ○	10	—1st—	12	52 ●	鹿屋体育大学
		15	—2nd—	16		
		15	—3rd—	17		
		17	—4th—	7		

第 1 ピリオド

日経大 #77 清本のジャンプシュートで幕を開ける。すかさず鹿体大 #8 中山が決め返すと、#7 原も鮮やかなドライブインを成功させる。日経大は果敢にリングに攻めるが、シュートがなかなか決まらない。鹿体大は #51 川口のリバウンドが光る。第 1 ピリオド終了間際、日経大 #77 清本がブザービーターを決め、1 ゴール差に迫り、10-12 で第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

第 2 ピリオド、鹿体大は #13 白石連続得点を決め、リードを保つ。#13 喜多が 3P シュートを決めるも、なかなか点差は縮まらない。残り 5:23、流れを掴みたい日経大はタイムアウトを請求。タイムアウト後、日経大 #35 岡田がドライブを決め、巻き返しを図るが、鹿体大は確実に得点を重ね、残り 2:58、日経大は再びタイムアウトを請求する。残り 1 分を切り、日経大は #33 江口が 3P シュートを決めるも、25-28、依然鹿体大が 3 点をリードし第 2 ピリオド終了。

第 3 ピリオド

開始早々、日経大は #35 岡田のドライブ、#00 マレムのシュートで逆転に成功する。鹿体大も #51 川口、#26 後藤が連続得点を決める。負けじと日経大も #5 後藤がバスケットカウントを決め、ここから互いに一步も譲らない激しい攻防が続く。中盤、#8 中山が先陣を切りレイアップを決め、鹿体大が流れを掴みかける。残り 4:17、日経大はタイムアウトを請求。その後、日経大が連続得点で追撃を始めるも、45-40、鹿体大が日経大の追従を許さず、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

最終ピリオド、序盤はシーソーゲームが続く。日経大は #77 清本、鹿体大は #26 後藤が果敢にドライブを仕掛け、ペイントに切れ込んでいく。残り 4:45、日経大は #5 後藤のリバウンドからのシュートでついに逆転する。徐々に焦りが見え始めた鹿体大は、思うようなオフェンスができない。その隙を見逃さなかった日経大は、#14 栗原が 3P シュートを決め、ゲームの主導権を掴み取る。勢いそのまま得点を重ねた日経大は、残り 57.0、日経大 #77 清本がジャンプシュートを決め、鹿体大はタイムアウトを請求。#7 原が 3P シュートを決め鹿体大が意地を見せるも、チャンスを見逃さなかった日経大が逃げ切り、57-52 で優勝を勝ち取った。